



2026年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社イクヨ

上場取引所 東

コード番号 7273 URL <https://www.ikuyo194.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 孫 峰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括本部

(氏名) 飯野 英明

TEL 046-285-1800

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,808	71.6	195	—	139	—	2,283	—
2025年3月期第1四半期	3,968	5.8	△112	—	△109	—	△109	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,183百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 85百万円 (△45.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	112.55	106.97
2025年3月期第1四半期	△7.18	—

※当社は、6月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	27,889	11,782	37.5
2025年3月期	16,254	7,070	42.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 10,465百万円 2025年3月期 6,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—				
2026年3月期 (予想)		30.00	—	3.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、6月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年3月期 (予想) につきましては、当該株式分割の影響を考慮した配当予想を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期 (予想) 年間配当金は1株当たり330円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期 (累計)	14,594	76.1	510	—	418	—	3,168	144.38
通期	30,201	70.3	955	—	793	—	3,256	148.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※当社は、6月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2 社 (社名) KUNSHAN VERITAS AUTO
MOTIVE SYSTEMS CO.,LTD 、 除外 — 社 (社名)
株式会社タマダイ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	21,944,000 株	2025年3月期	17,444,000 株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	153,580 株	2025年3月期	153,580 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	20,290,420 株	2025年3月期1Q	15,232,040 株

※当社は、6月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲の重要な変更)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(企業結合等関係)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需の弱さや輸出の減少により2四半期連続でマイナス成長となりました。特に関税引き上げの影響で米国向けを中心に輸出が大きく落ち込んでおり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの関係する自動車業界は、世界的に見ると、電気自動車（EV）の普及や自動運転技術の実用化など、技術革新と市場変化による進化が進む一方、国内市場は縮小傾向にあると予測されていますが、メーカー各社の生産は堅調に推移しております。

当社グループにおきましては、中長期的な企業価値の向上を目指し、「事業の多角化」と「競争優位の強化」を両立させるM&Aを重要な経営手段と位置付けています。当連結会計年度においてKunshan Veritas Automotive Systems Co., Ltd.を子会社化、株式会社タマダイを完全子会社化し自動車部品事業の拡大を進めました。

なお、Kunshan Veritas Automotive Systems Co., Ltd.は2025年4月1日をみなし取得日として連結の範囲に含めており、当第1四半期連結累計期間より業績を連結損益計算書に含めるとともに貸借対照表を連結しております。株式会社タマダイについては2025年6月30日をみなし取得日として連結の範囲に含めており、当第1四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結しております。業績については第2四半期連結累計期間より連結損益計算書に含める予定です。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,808百万円（前年同期比71.6%増加）、営業利益195百万円（前年同四半期は営業損失112百万円）、経常利益139百万円（前年同四半期は経常損失109百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,283百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失109百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は16,387百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,234百万円増加しました。主な内訳は、現金及び預金が4,927百万円増加、売掛金及び電子記録債権が2,721百万円増加したこと等によるものです。有形固定資産は7,668百万円となり、前連結会計年度末に比べ508百万円増加しました。主な内訳は、建物及び構築物が255百万円増加、機械装置及び運搬具が106百万円増加したこと等によるものです。無形固定資産は3,143百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,656百万円増加しました。主な内訳は、のれんが2,554百万円増加したこと等によるものです。投資その他の資産は690百万円となり、前連結会計年度末に比べ235百万円増加しました。主な内訳は、繰延税金資産が94百万円増加したこと等によるものです。

この結果、資産合計は27,889百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,634百万円増加しました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,965百万円増加しました。主な内訳は、支払手形及び買掛金が1,202百万円増加、未払法人税等が2,328百万円増加したこと等によるものです。固定負債は5,192百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,957百万円増加しました。主な内訳は、長期借入金が983百万円増加、資産除去債務が1,833百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は16,106百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,922百万円増加しました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は11,782百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,712百万円増加しました。主な内訳は資本金が787百万円増加、資本剰余金が786百万円増加、非支配株主持分が1,185百万円増加、利益剰余金が2,233百万円増加したこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期における第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定いたしました。詳細につきましては、本日（2025年8月14日）公表いたしました「特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,496,485	6,423,587
売掛金	3,077,558	4,243,947
電子記録債権	679,342	2,234,857
商品及び製品	174,273	488,419
仕掛品	655,075	903,295
原材料及び貯蔵品	482,888	1,402,596
前払金	1,312,038	-
その他	274,953	690,414
流動資産合計	8,152,616	16,387,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,829,050	10,293,583
減価償却累計額	△4,668,904	△7,877,959
建物及び構築物（純額）	2,160,146	2,415,624
機械装置及び運搬具	5,570,706	7,783,144
減価償却累計額	△3,823,859	△5,929,404
機械装置及び運搬具（純額）	1,746,846	1,853,740
工具、器具及び備品	29,738,616	31,110,632
減価償却累計額	△27,844,602	△29,140,992
工具、器具及び備品（純額）	1,894,013	1,969,639
土地	1,287,158	1,225,981
建設仮勘定	49,856	136,511
リース資産	31,718	241,367
減価償却累計額	△9,295	△174,223
リース資産（純額）	22,423	67,143
有形固定資産合計	7,160,444	7,668,642
無形固定資産		
のれん	-	2,554,121
その他	486,813	589,406
無形固定資産合計	486,813	3,143,527
投資その他の資産	454,768	690,315
固定資産合計	8,102,026	11,502,484
資産合計	16,254,642	27,889,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,326,211	3,528,419
短期借入金	1,000,000	1,058,551
1年内返済予定の長期借入金	430,000	488,604
未払法人税等	15,503	2,344,081
賞与引当金	85,389	41,250
未払費用	281,993	1,970,522
前受金	2,355,325	530,481
設備関係支払手形	125,703	153,502
その他	328,527	798,669
流動負債合計	6,948,653	10,914,082
固定負債		
長期借入金	1,590,000	2,573,422
退職給付に係る負債	626,214	741,125
資産除去債務	-	1,833,999
その他	19,197	44,317
固定負債合計	2,235,411	5,192,864
負債合計	9,184,065	16,106,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,658,483	3,446,307
資本剰余金	384,033	1,170,053
利益剰余金	3,414,018	5,647,745
自己株式	△27,321	△27,321
株主資本合計	6,429,213	10,236,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,959	132,420
為替換算調整勘定	285,056	57,938
退職給付に係る調整累計額	42,034	38,038
その他の包括利益累計額合計	463,051	228,397
新株予約権	133,861	87,313
非支配株主持分	44,451	1,230,160
純資産合計	7,070,577	11,782,656
負債純資産合計	16,254,642	27,889,602

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
売上高	3,968,421	6,808,756
売上原価	3,607,802	5,708,337
売上総利益	360,618	1,100,418
販売費及び一般管理費	472,863	904,470
営業利益又は営業損失（△）	△112,244	195,947
営業外収益		
受取利息	3,715	6,667
受取配当金	4,553	5,155
その他	797	7,521
営業外収益合計	9,066	19,344
営業外費用		
支払利息	5,538	33,288
為替差損	165	36,572
その他	308	5,729
営業外費用合計	6,012	75,590
経常利益又は経常損失（△）	△109,191	139,701
特別利益		
固定資産売却益	6,978	7,019,800
補助金収入	19,470	-
特別利益合計	26,448	7,019,800
特別損失		
固定資産除売却損	3,800	-
減損損失	-	2,575,214
特別損失合計	3,800	2,575,214
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△86,542	4,584,287
法人税、住民税及び事業税	934	2,236,172
法人税等調整額	21,897	△91,642
法人税等合計	22,832	2,144,530
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△109,374	2,439,756
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△30	155,995
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△109,344	2,283,761

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△109,374	2,439,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,996	△3,539
為替換算調整勘定	120,977	△248,367
退職給付に係る調整額	77,472	△3,995
その他の包括利益合計	194,454	△255,902
四半期包括利益	85,079	2,183,854
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,705	2,049,107
非支配株主に係る四半期包括利益	1,373	134,746

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

新株予約権の行使により、当第1四半期連結累計期間において、資本金が787,824千円、資本剰余金が787,824千円増加しております。

この結果、第1四半期連結会計期間末において、資本金が3,446,307千円、資本剰余金が1,170,053千円となっております。

（連結の範囲の重要な変更）

当第1四半期連結会計期間において、Kunshan Veritas Automotive Systems Co., Ltd. および株式会社タマダイの株式を取得したことにより、両社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他（注）	合計
	自動車部品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	3,968,421	3,968,421	-	3,968,421
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	3,968,421	3,968,421	-	3,968,421
セグメント利益又は損失（△）	△112,244	△112,244	-	△112,244

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他（注）	合計
	自動車部品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	6,807,756	6,807,756	1,000	6,808,756
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	6,807,756	6,807,756	1,000	6,808,756
セグメント利益又は損失（△）	199,342	199,342	△3,395	195,947

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「自動車部品」セグメントにおいて、厚木工場の土地の譲渡及び生産性の向上に向けた新拠点への移転等の再生プランの進行に伴い、厚木工場に帰属する固定資産に係る減損損失を計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は2,575,214千円です。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、Kunshan Veritas Automotive Systems Co, Ltd. 及び株式会社タマダイの株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「自動車部品」セグメントにおいて、のれんが2,554,121千円増加しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
減価償却費	485,961千円	522,647千円
のれん償却額	一千円	62,707千円

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

1. Kunshan Veritas Automotive Systems Co., Ltd. の株式取得による企業結合

当社は、2024年9月25日開催の取締役会において以下のとおり、Kunshan Veritas Automotive Systems Co., Ltd.（昆山偉理塑汽車部件有限公司）の普通株式の51%を取得して同社を子会社化することを決議し、2025年4月15日付にて株式取得に関する手続きを完了しております。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	Kunshan Veritas Automotive Systems Co., Ltd.
事業の内容	自動車部品、燃料パイプ、ガソリン微粒子フィルター（OPF）、ターボ充電システムなどの製造

② 企業結合を行った主な理由

当社は設立以来、自動車の装備品の製造及び販売を主な内容とした事業活動を行っています。

しかしながら、当社グループの主力製品である自動車用樹脂成形品については、市場成熟分野であり需要の伸びが期待できず、厳しい業界内競争が続いております。そのような状況において、今般、ドイツに本社を有し、自動車部品の製造販売を行う Veritas AG の中国の昆山所在の子会社であるKunshan Veritas Automotive Systems Co., Ltd. について、その株式の 51%を取得（当該株式を保有する特別目的会社等を介して間接的に取得する場合を含みます。以下同じです。）し、当社及び当該子会社による品質向上、コスト削減、販路拡大等によるシナジーを生み出してまいります。

③ 企業結合日

2025年4月15日（みなし取得日：2025年4月1日）

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得する議決権比率

51.0%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年4月1日から2025年6月30日

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	3,587百万円
取得原価		3,587百万円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

調査費用等 12百万円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因

① 発生したのれんの金額

2,508百万円

なお、のれんの金額は、当四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

② 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものです。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

2. 株式会社タマダイの株式取得による企業結合

当社は、2025年5月15日開催の取締役会において以下のとおり、株式会社タマダイの全株式を取得して同社を子会社化することを決議し、2025年5月28日付にて株式取得に関する手続きを完了いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社タマダイ
事業の内容	ダイカスト品の製造、加工、販売及び輸出入等

② 企業結合を行った主な理由

当社は設立以来、自動車の装備品の製造及び販売を主な内容とした事業活動を行っています。

一方、株式会社タマダイは、自動車部品大手企業に対し、アルミダイカスト製品を製造販売しております。アルミダイカスト製品は、自動車の軽量化ニーズに対応した製品であり、軽量化のニーズは今後も続く想定されます。

自動車産業は、エンジン自動車から電気自動車や燃料電池車等への移行が進みつつあり、今後、樹脂やアルミ素材に対する多様なニーズが生じる可能性があります。

株式会社タマダイは優良な顧客と技術力を有しており、本件株式取得により当社の顧客や技術と融合することで新たな製品と市場開拓が見込まれ、当社グループの企業価値の向上に寄与するものと考えております。

③ 企業結合日

2025年5月28日（みなし取得日：2025年6月30日）

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得する議決権比率

100.0%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年6月30日をみなし取得日としているため、貸借対照表のみを連結しており、当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	300百万円
取得原価		300百万円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

調査費用等 3百万円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因

① 発生したのれんの金額

108百万円

なお、のれんの金額は、当四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

② 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものです。

③ 償却方法及び償却期間

投資効果の発現する期間で均等償却する予定です。なお、償却期間については算定中です。